



報道機関各位

令和 7 年 8 月 29 日



芦屋町歴史民俗資料館 令和 7 年度

八朔の節句パネル展 開催

～芦屋町で 300 年続く、こどもの健康と健やか成長を祝う伝統行事を紹介～

国選択無形文化財 「芦屋の八朔行事」

「芦屋の八朔行事」は、江戸時代から 300 年以上続く伝統行事です。旧暦の八月朔日（現在では、9 月 1 日）を初めて迎える長男・長女のために、男の子の家では数多くのわら馬を、女の子の家では数多くの団子雛（だごびーな）を作り、こどもの誕生と健やかな成長を祝います。

芦屋の八朔行事は、昭和 51 年に福岡県の「無形民俗文化財」に指定、平成 19 年には国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されています。また、八朔のわら馬は福岡県知事指定特産民芸品に指定され、福岡県を代表する民芸品でもあります。

八朔の節句パネル展 概要

今回のパネル展では、芦屋の八朔行事をパネルで分かりやすく紹介します。あわせて、芦屋町歴史民俗資料館が過去に作成した映像資料や、わら馬・だごびーなの展示を行います。わら馬やだごびーなの前での写真撮影も可能です。

- 開催期間 令和 7 年 9 月 2 日(火)～21 日(日)
- 開催場所 芦屋町歴史民俗資料館
(福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿 1200)
- 主催 芦屋町
- 対象 一般
- 入館料 18 歳以上 200 円、
小・中・高校生 100 円



問い合わせ先

【芦屋町役場】 芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係

芦屋町歴史民俗資料館（芦屋歴史の里）担当：其田

☎093-222-2555